

令和6年度 学校評価書(共通) 後期

校名

宇和島市立喜佐方小学校

1 自己評価書

教育目標 笑顔で登校 満足して下校する児童を育てる						
基本方針 1 自ら学ぶ意欲を持った児童を育成する。 2 心身ともに健康で、根気強く取り組む児童を育成する。 3 思いやりと優しさを持った児童を育成する。						
本年度重点目標 1 地域とともにある特色ある学校づくりの推進 2 確かな学力の定着と向上 3 健やかな体を育てる教育の推進 4 豊かな心を育てる教育活動の推進 5 互いの人権を尊重する教育の推進と特別支援教育の充実 6 教職員の資質・能力の向上と働き方改革						
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成		B	
			・具体的な対策の実施		B	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。  ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。  一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	A	B	
			・保護者アンケート	C		
			・児童生徒アンケート	A		
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	A	B	
			・保護者アンケート	C		
			・児童生徒アンケート	A		
	⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	<p>(成果と課題) ○EILSのみきゃん通帳に感想文を入力させたり、家読の具体的な取組を啓発し、家庭学習週間に読書週間として取り入れた。その結果、家庭での読書量が増えた。 ●課題は、家庭での読書の習慣が定着しておらず、読書量が少ないことだと考える。そのため、家読を引き続き啓発していく必要がある。</p> <p>(改善策等) ・読解力プリントやEILS、すららドリル、eスタをよりよく活用し、授業と連動させた家庭学習の確立に努める。 ・家庭学習アンケートをもとに、個別の支援(個に応じた)や指導をする。 ・「家読」をより効果的に実践するため、学校HPで、読書環境整備について、具体的な実践例や文献等の情報を提供する。 ・喜佐方タイム(水曜日)の時間を活用して、各学級でブックトークを行う。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	C		
			・児童生徒アンケート	A		
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。  不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。  いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	A	A	
			・保護者アンケート	A		
			・児童生徒アンケート	A		
	③ 関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート	A	B	
			・児童生徒アンケート	A		
			・保護者アンケート	C		
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。  自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	A	A	
			・児童アンケート	A		
			・児童アンケート	A		
	<p>(成果と課題) ○児童の気になる行動や時節柄予想される問題行動について、全体指導を行うなどの予防的な生徒指導に努めた。 ○音楽会、学習発表会などの行事に際し、自己有用感の高まる声掛けや励ましが見られた。 ●児童の人間関係が、少人数学級の限られたものになっている。</p> <p>(改善策等) ・保護者が見て、子供がきまりや約束を守っていないと感じていることはどのようなことなのか、2月の学級PTAの議題に取り上げる。 ・学校の取組(教育相談を行ったこと)や関係機関等の相談窓口の情報を保健だよりで案内をする。</p>					

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価				
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	C A	B			
	②	働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	B	B			
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	A	A			
③	他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	A	A				
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期末特別校時を有効に活用できた。</li> <li>○ 閉校の準備や行事で、地域との関わりが充実していてよかった。</li> <li>● 計画的に仕事を進めるようにする。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の動きを見て、優先順位の高い物から処理していくようにする。</li> <li>・ テレワークを活用し、休日出勤や平日の超過勤務削減に努める。</li> <li>・ 作業を分担するなどの分掌の見直しをし、事務作業の効率化を図る。</li> </ul>									
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価				
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	A	A			
			学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A				
			②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。		・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A A A	A
③							来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	
	<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな方法(学校だより、HP、PTA広報紙など)で、閉校行事など学校の様子を発信することができた。</li> <li>○ 閉校記念行事や地域の行事を通して、地域とのつながりや広がり深まった。</li> <li>● 統合に向けての準備を進める上で、保護者の疑問に答えたり不安の解消に努めたりすることが必要である。</li> </ul> <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇和島市HPに統合についての検討事項や決定事項が随時掲載されている。保護者宛の文書にQRコードを載せてあるので、質問があった場合には、そこから情報収集ができることを知らせるとともに、職員も随時確認して対応できるようにする。</li> <li>・ 保護者からの相談があった場合、全体に関わる課題なのか、または、個人の都合なのかを見極めて柔軟に対応する。</li> <li>・ 全職員が明るい笑顔と挨拶で、保護者の悩みに寄り添う声掛けを心掛ける。</li> </ul>								

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満